



若葉小だより

No.438 3月号
令和2年3月24日
調布市立若葉小学校
校長 渡邊桂子

HP <http://www.chofu-schools.jp/wakaba-sho/> E-Mail wakaba-sho@chofu-schools.jp

「若葉小 未来につなげる みんなのわ」

和敬清寂(わけいせいじゃく)

校長 渡邊桂子

去る1月18日、本校で「新春お茶会」が開かれました。その時、和室の床の間の掛け軸に書かれていた言葉が「和敬清寂」です。

この四つの文字の中には、すべてのお茶の心がこめられていると教えていただき、ご指導いただいた、茶道家 浅子幸枝（宗名：宗幸）先生の凛とした品格あるお姿とともに深く心に残っています。



「和(わ)」(Harmony)とは、お互いに心を開いて仲良くするということです。

「敬(けい)」(Respect)とは、尊敬の敬で、互いに敬(うやま)い合うという意味です。

「清(せい)」(Purity)とは、清らかという意味ですが、目に見えるだけの清らかさではなく、心の中も清らかであるということです。

「寂(じゃく)」(Tranquility)とは、どんなときも動じない泰然自若の心です。

ところで、新型コロナウイルス感染拡大防止対応策として、学校は3月2日から臨時休業となりました。修了式や卒業式も命や健康を最優先に考え、調布市教育委員会の方針を踏まえつつ安全面を工夫して実施いたします。子どもたちにとって、一生に一度の大切な節目を心に残るものにしてまいります。いつから通常の教育活動が再開できるか見通しがなく、不安な状況下である今こそ、「和敬清寂」の精神をもって落ち着いて行動したいと思います。

結びに、一年間、保護者・地域の皆様に多くのご支援を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

利休七則

茶は服(ふく)のよきように
…心をこめる

炭は湯の沸くように
…本質を見極める

夏は涼しく冬は暖かに
…季節感をもつ

花は野にあるように
…いのちを尊ぶ

刻限(こくげん)は早めに
…心にゆとりをもつ

降らずとも雨の用意
…やわらかい心をもつ

相客(あいきゃく)に心せよ
…互いに尊重しあう

～千利休が唱えた茶の湯の心～

4月(新年度)の主な行事予定

6日(月)	始業式・入学式	14日(火)	保護者会 1・2年
8日(水)	給食始	17日(金)	離任式
10日(金)	保護者会 3・4年	20日(月)	1年生給食始
13日(月)	保護者会 5・6年	25日(土)	学校公開日調布市防災教育の日